

平成 30 年度第 1 回和光市図書館協議会会議要録	
日 時	平成 30 年 8 月 31 日（金）14 時～16 時
場 所	和光市図書館 会議室
出席者	（委 員 長）泉 峰子 （副委員長）柳下 昇
委 員	橋爪 永 山田 杉子 五十嵐 康代 八木 久仁 関口 泰典 石川 敬史
事務局	生涯学習課長 横山 英子 館長 小賀坂 真志 主査 小林 理恵 主査 清水 将周 主任 渋谷 香里
欠 席	佐々木 麻由子 小熊 尋子
傍聴者	0 人
	1 館長あいさつ 2 図書館協議会委員の委嘱について 3 諮問 4 議事 (1)第 1 次和光市図書館サービス計画（平成 29 年度）の取組状況及び評価について
泉委員長	「第 1 次和光市図書館サービス計画（平成 29 年度）の取組状況及び評価」について、事務局よりご説明をお願いします。
事務局	「第 1 次和光市図書館サービス計画（平成 29 年度）の取組状況及び評価」 基本施策 1 市の特性にあった計画的な蔵書管理 施策 1 図書資料等の収集・保存 について説明
泉委員長	ありがとうございました。こちらについて、委員の皆さまから、何かご意見ご質問等はございますでしょうか。（委員からは特になし） 埼玉県内の公立図書館の統計で蔵書割合が県内 63 市町村中、和光市が 60 位ということに対して、何か見直しとかお考えはありませんか？
事務局	蔵書数に関しましては、現在直近のデータでは、1 人あたりの蔵書冊数が 54 位となっています。やはり課題にもありますが、児童書の割合については、和光市の特色でもあり人口体系からのニーズでもあります。キャパシティの問題があり、閉架書庫も限界があり、分館の方に 4 万冊がすべて収まったとしても、県の平均までいかないのが実情であります。保管場所の確保が課題となると思います。
泉委員長	満足度が下がっているようですが、一般書と児童書の購入割合がどうかと思いますが、選書の時に加味してみたいはいかがですか？

事務局	予算上は一般書と児童書のバランスは考えて分けております。
泉委員長	続きまして施策 2 のご説明をお願いします。
事務局	施策 2 視聴覚資料の充実 について説明
泉委員長	ナクソスミュージックライブラリーの利用はどれくらいですか？
事務局	I Dの発行数は平成 29 年度は 215、平成 28 年度は 78 となっており、利用は増えてきています。クラシックを中心として 100 万曲ありますが、すべてが網羅されてるわけではないので、ナクソスミュージックライブラリーの活用を進めていくために、もう少し広く周知していく必要があると思います。
石川委員	視聴覚資料だけで考えるのではなくて、音楽とか映画とか、図書館にストックしている視聴覚資料と図書資料を結び付けて、図書館として、どのように付加価値をつけていくのかが今後の課題になってくると思います。
関口委員	ナクソスはクラシックの総合百科事典を作るというコンセプトで非常にマニアックではないですか。一般的に知られているポピュラーな作品ではないものもあり、ほとんどクラシックなので、よほどマニアな方でないと利用する人が少ないのではないかと思います。
泉委員長	難しいですが、今後どうするかをご検討いただいた方がいいですね。
事務局	施策 3 郷土・行政資料の収集・保存 について説明
関口委員	和光市ゆかりの文化人、例えば清水かつらさんは大正から戦中・戦後直前までですよね。この方は書籍やレコードを出しているとは思いますが、消耗品なので、今、ほとんど残っている物がない状態で、これから資料を収集していくのは、なかなか難しいですね。
柳下委員	何かめばしい物が入ったら、こんなものが入りましたと周知・宣伝すると市民の方が協力してくれるかもしれないですね。郷土資料は非常に難しい部門だと思います。
泉委員長	和光市内の小学校とか色々な場所に散らばって残っていると以前の会議で話題になりましたが、どこにどんな資料があるという情報を整理して、図書館がリスト化すべきではないでしょうか。
関口委員	午王山を国が史跡の指定をする動きがあるので、資料の充実や簡単なデータ

	ベース化等の準備をする必要があると思います。
泉委員長	図書館がやるべきではないかもしれないし、文化財保護担当がやることかもしれませんが、郷土資料を収集するだけではなくて、どこに資料があるというのをわかるようにしておくのは先々の課題だと思います。
事務局	文化財保護担当の方で和光市史の編さんに取り組んでいます。市史の編さんというのは昭和 60 年くらいまでの分が和光市史として何巻にもわたってあるんですけど、昭和の終わりから平成のこれまでに記の記録を一つにまとめたものがないので、2021 年度中の完成を目指して取り組んでいる状況です。その中で色々な情報を精査するタイミングにあります。それと合わせて文化財保護担当と図書館と連携して検討していきたいと思います。
関口委員	書籍本と映像編とが今後必要になってくると思いますので、各担当課が連携して進んでいければ良いと思います。
泉委員長	和光市図書館にある郷土資料の一覧やリストが求められている可能性があるのので、今後必要になってくると思います。
事務局	基本施策 2 快適な図書館サービスの提供 施策 1 乳幼児、小学生へのサービスの充実 について説明
橋爪委員	分館が同じ敷地内にあり、下新倉小学校の子どもたちにとっても有効に利用させてもらっています。成果も徐々に上がってきています。小学生へのサービスは充実していると思います。
石川委員	ずいぶん積極的に取り組んでいると思います。図書館だけで何かをするのではなくて、学校や幼稚園、保育園、ボランティアなどのお力がある、ここまで達成できたのではないかと思います。市民の皆さんとの協同や連携が大事だと思います。
関口委員	まさに「みんなで育てる身近な図書館」のとおり、非常にすすんで取り組んでいると思います。
泉委員長	連携が大事だということを追記した方が良いですね。
事務局	施策 2 中学生及び高校生へのサービスの充実 について説明
泉委員長	ビブリオバトルが定着されたようで、積極的にされていて良いですね。

石川委員	図書館クラブの参加人数はどれくらいですか？
事務局	去年は3名、今年は5名の参加がありました。分館で行いましたので、和光高校の生徒さんです。 施策3 成人へのサービスの充実 について説明
石川委員	成人へのサービスイコールビジネス支援ではないと思います。成人へのサービスの充実のために、これとは別の形で図書館サービスをしていく必要があると思います。行政資料や郷土資料へのつながりであったりとか、ビジネス支援だけではなくて、小説や写真集、趣味の領域とか、ここへどのような形でサービスをつなげていくのかがポイントになってくると思います。
泉委員長	時間外に利用できるサービスの充実も必要だと思います。駅前に返却ボックスがあるのはわかっているけど、地下の駐輪場では目立たないので、交番の前あたりとかにあると気軽に返しやすと思うので、よく見える所に返却ボックスを設置できると良いと思います。予約資料の公民館窓口での受け取りについては、あまり知られていないかもしれないですね。
橋爪委員	ビジネス支援という言葉がずいぶん目立っていると感じます。生涯学習の一環として図書館をより広く利活用していくという視点が大事だと思います。大人も読書離れ、本離れが進んできているので、ニーズを掘り起こしながら図書館としてどのようなことが出来るのか模索していく必要があると思います。
泉委員長	ちょっとわからないことがあった時に、気軽に聞いたら教えてもらえますというレファレンスサービスを知られていないのではないかと思います。ホームページで紹介したり、パスファインダーを作ったりして支援の仕方や広報の仕方を工夫した方が良いと思います。
事務局	施策4 障害者・高齢者へのサービス について説明
泉委員長	大変積極的に取り組んでいると思います。 音訳サークルなごみとの連携によるサービスについても追記した方が良いでしょう。
石川委員	今後の課題として視覚障害だけではなくて、手話や字幕付きの映像だとか、聴覚障害や高齢で聞こえづらい方に対する図書館としての支援が必要だと思います。

事務局	施策5 外国人へのサービスの充実 について説明
八木委員	外国人の方へのわらべうたとかいいですね。
泉委員長	来館してくださる方に、何かの機会にアンケートが出来るといいですね。
石川委員	外国語で書かれた（英語・中国語以外の）多様な言語で書かれた絵本もあるといいですね。
事務局	基本施策3 誰もが便利と感じる図書館機能の充実 施策1 公共施設等と連携したサービスの提供 について説明
橋爪委員	定量的評価が落ち込んでいるのは、下新倉分館の開館により坂下公民館図書室の貸出が減少しているという分析でよろしいでしょうか。
事務局	坂下公民館図書室の貸出が減少しているのは、下新倉分館の開館の影響が多分にあると思います。一時、坂下公民館図書室の閉室という話もありましたが、当面は地域の利用者は少なからずいるので存続していきます。資料貸出点数についてですが、3公民館の中で、中央公民館は本館に近いということもあり少なくなっています。
泉委員長	相互貸借については、どこかに掲示して周知しているんですか？
事務局	ポスターを掲示したり、ホームページにも掲載しています。
事務局	施策2 地域、ボランティアとの連携 について説明
泉委員長	最近かなりボランティアの人数が増えているようですが、どんなきっかけでボランティアに入られる方が多いですか？
事務局	こちらのボランティアさんは、読み聞かせ等の団体のボランティアさんとサポーターさんが含まれています。サポーターにつきましては、ご興味のある方がポスターとかチラシをご覧になってお電話や来館されてご希望のお申し出をいただいています。ボランティアさんにつきましては、各団体さんの方で登録していただいています。
泉委員長	サポーター総会はやったりしていますか？
事務局	サポーターの懇親会を先だって行いました。

事務局	施策3 コミュニティ情報等の収集・保存・発信 について説明
泉委員長	チラシの保存については以前から課題となっていました、いかがですか？
事務局	ポスター等を掲示、配置はしていますが、保存までにはなかなか整理が進んでいない状況です。
橋爪委員	どこまでの情報を図書館が管理して提供していくのが適切なのかを線引きしてやらないと工夫が必要だと思います。
泉委員長	郷土資料になりそうなチラシは保存してはいかがでしょうか。
柳下委員	ある程度時間が経たないと貴重な資料にならないので、何を残すかが難しいですね。
泉委員長	1～2年分を並べて選んでチェックしたり、少し寝かせてからの方が判断しやすいのではないのでしょうか。
事務局	施策4 図書館施設等の保全 について説明
関口委員	分館のバスの本数とは循環バスのことですか？
事務局	道路課と協議して本数を調整できないかと思っています。
泉委員長	北口の区画整理で図書館は入らないですか。返却ボックスを増やしてもらえると返しやすいですね。
事務局	今年度1か所増えましたが、目につきづらい場所にあるので、今後、配置を検討したいと思います。
石川委員	館内レイアウトの変更の予定はないですか？
橋爪委員	よりよい施設にしていくために将来性を見据えて工夫の余地があるのではないですか。下新倉分館ができて課題がないわけではないので、含みを持たせてほしいです。
泉委員長	予約本の受け取り場所など小さいスペースでも良いので駅に入ると良いですね。
柳下委員	バランスよく南公民館の方にも、もう一つくらい図書館があっても良いと思

	います。
泉委員長	複合施設でも良いので、小学校の改築の時にでも、小さな図書館が出来るように検討してみてもいかがでしょうか。
石川委員	公共施設の民間委託の流れで商業施設の中に図書館が入るのが本当に良いのかどうかを考えていかなければならないと思います。
泉委員長	将来に向けて、現状のままでよいのか、色々と検討していく必要がありますね。W i - F i についても検討していると追記した方が良いでしょう。
事務局	施策5 電子図書館の推進 について説明
泉委員長	インターネット予約件数が増加していますが、何か工夫されましたか？
事務局	特に変えたことはないです。グーグルアナリティクスを付けました。ホームページをよく閲覧してもらえているのかなと思います。
泉委員長	電子書籍の導入はいかがですか？電子図書館のお試しは出来ないのですか？
事務局	県内63か所のうち5か所で電子図書館を導入しているところがありました。他市の動向を勘案しながら検討していきたいと思います。
石川委員	図書館システムの更新が平成32年1月にあると思いますが、システム改修の時に、行政資料でデジタル化出来るものはデジタル化出来たら良いと思います。
泉委員長	システム更新の時に色々と組み込まないといけないですね。
関口委員	今のデジタルミュージアムになっている和光市史はPDFで落としているだけなので使い道がないですね。インデックス化しないと検索できないので意味がないと思います。
事務局	施策6 図書館の効率的・効果的運営及び職員の資質の向上 について説明
石川委員	市内小中学校の学校司書を対象としたスキルアップは継続していただきたいと思います。
泉委員長	窓口にいる職員が全員司書であるという事は、職員の資質が向上していて、レファレンス件数が増加していて素晴らしいです。

柳下委員	レファレンスが伸びていくと、成人の利用も伸びていくのではないですか。
泉委員長	引き続き、職員や学校図書館司書を含めた研修を続けていただきたいと思います。
	それでは、本日予定されておりました議事はすべて終了いたしましたので、進行を事務局にお返しします。
事務局	ありがとうございました。 次回の協議会の開催日程につきましては、2月か3月頃を予定しておりますので、よろしくお願いいたします。 それでは、以上をもちまして、平成30年度第1回和光市図書館協議会を終了させていただきたいと思います。 皆さま、本日は長時間にわたり、ご議論いただきありがとうございました。 以上